



平地の旅人 ツバメ

高学年程度

季節：春～夏 時間：3～5時間

-  ツバメやツバメの巣について調べましょう。
-  ツバメや私たちのくらしがどのように関わっているのか考えましょう。

さあはじめよう (進め方)

- 1 参加者を2～3人のグループに分けます。
- 2 グループごとに、調べる場所を決めます。
グループどうし、話し合っ場所をふりわけののも良いでしょう。
- 3 ツバメやツバメの巣をさがしてワークシートに記録します。
調べた場所のようすをスケッチや写真にとっておくと、あとで役に立ちます。資料も参考にしてください。
- 4 ツバメの種類や、調べた場所を地図上に表すと、身近にいるツバメのことがよくわかるでしょう。
- 5 身の回りにはどんなツバメがいて、どんなところに巣をつくっているのかを調べることで、ツバメのことやツバメの住みやすい場所とはどのようなところかが見つかるでしょう。みんなで意見を出し合っ考えてみましょう。

ツバメの姿を見かけはじめたらやってみましょう。

準備

用意するものは
 筆記用具 色鉛筆
 バインダー ワークシート
 カメラ
 服装は
 動きやすい服装 帽子

活動の場所

自分の家の周りや学校の周り、校区内など、自分たちで範囲を決めてやってみましょう。

気をつけよう!

車や自転車に気を付けること。
 ツバメはとてもデリケートな鳥です。観察するときにはやさしくそっとな観察しましょう。来年も来てほしいもんね。



発展

ツバメは、いつでも私たちのまわりにやってきて、いつでも私たちのまわりから見られなくなるのでしょうか。1年間を通して調べてみましょう。

ツバメは、毎年同じ場所に巣をつくるのでしょうか。巣があった場所を地図に表したものを2年間、または数年にわたって重ねていってみましょう。

私たちの身の回りに、毎年ツバメはやってきます。そんなツバメがもしもこなくなってしまうたら、どんなことが起こるでしょう。自分で考えたり、友だちと一緒に考えたりしてみましょう。考えたことを発表し合い、友達の発表から気付いたことなどもワークシートにまとめましょう。



子育ての時期が終わるとツバメはどこに行くのでしょうか。

ツバメは、4月上旬頃から巣作りをはじめ、5月上旬には産卵します。約2週間でヒナがかえり、およそ20～25日で巣立ちをします。春にはにぎやかだったツバメも、夏休みがはじまるころにはあまり姿を見かけなくなります。

では、子育てを終えた親鳥や、巣立っていった若鳥たちはどこにいったのでしょうか。

ツバメたちは、日中、田畑や山や川の上を飛び回り、空中で虫を食べ、夜になると「集団ねぐら」と言われる川や湖のほとりのヨシ原に集まり、穂や葉の上にとまって夜を過ごします。秋の渡りがはじまるまで、毎夜ほとんど同じ場所に集まり、眠ります。島根県では斐伊川河口（斐川町）や敬川河口（江津市）が代表的な「集団ねぐら」です。



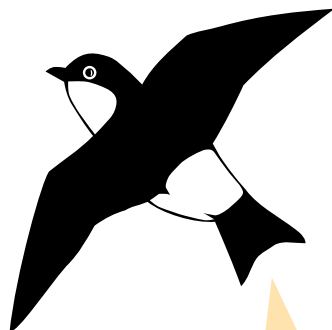
ヨシ原に帰ってくるツバメ

参考)「森の新聞 ツバメの街」(川道美枝子・須川恒 フレーベル館)

資料

参考)「フィールドガイド 日本の野鳥」(財)日本野鳥の会)

島根県でよく見られるツバメ
《イワツバメ》



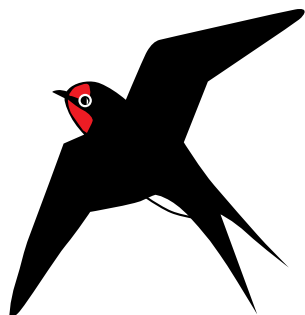
ツバメより小さく、尾の切れ込みが浅い。のどから腹にかけて白く見える。頭から背中にかけては黒っぽく見える。

《コシアカツバメ》

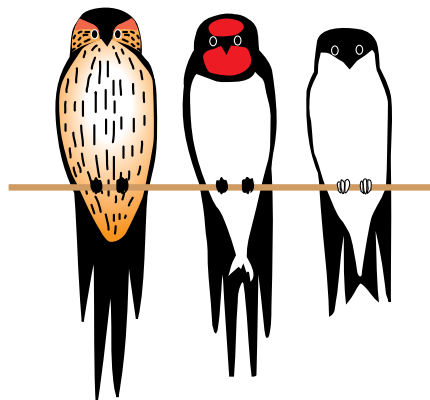


ツバメより大きく尾が長い。飛んでいると腰のだいたい色部分が目立つ。胸から腹にかけてたてじまがある。

《ツバメ》



ひたいとのどは赤茶色。頭から背中にかけては、青みをおびた黒色。つばさと尾ばねは黒色。



ツバメによく似ているが種類の違うアマツバメ

つばさは細長く、かまのような形をしているので、飛んでいる姿はまるでブーメランのように見える。ツバメの仲間よりおなか側が白くなく、黒い。同じアマツバメ科には、ヒメアマツバメ、ハリオアマツバメなどがいる。





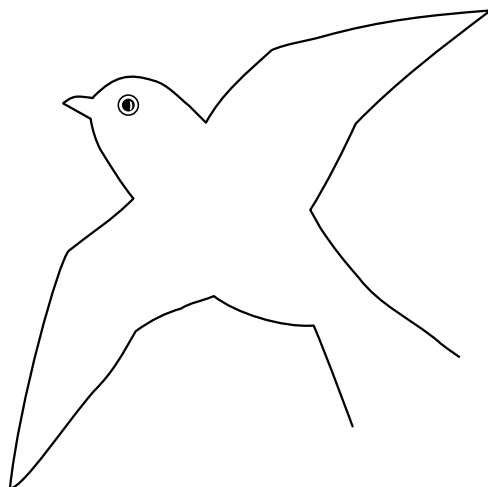
見つけたツバメを見分けよう

(からだの特徴編)

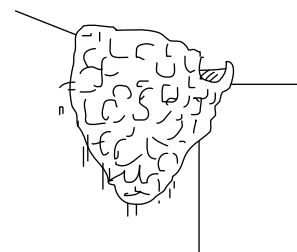
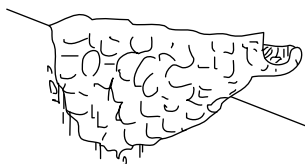
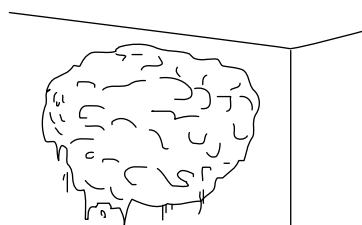
調べた日	年 月 日 ()	グループ名	
時間	時 分 ~ 時 分	氏名	
天気		気温	

見つけた場所

見つけたツバメのからだの模様を色であらわそう



見つけたツバメの巣の形に近いものに をしよう



見つけたツバメの名前



どんなところに巣があるか 考えよう

調べた日	年 月 日 ()	グループ名	
時間	時 分 ~ 時 分	氏名	

これまでに見つけたツバメの巣の場所を地図に表そう

自分たちで決めた範囲の白地図に印をつける。
ツバメの種類をわけた印をつけていく。

できあがった地図から見つけたことや考えたことをまとめ、どうして巣があるのかについて考えよう



調べたことをもとに考えよう (もしもツバメがこなくなったら編)

調べた日	年 月 日 ()	グループ名	
時間	時 分 ~ 時 分	氏名	

もしもツバメがこなくなったらどんなことが起こるでしょう。まずは、自分やグループで考え、その考えをもとにみんなで話し合ってみましょう。

《自分の考え・グループの考え》

《話し合ったことをもとに考えたこと》

私たちがこれからどんなことに気をつけていけば、ツバメが来なくなるのを防げるのか考えてみよう。